

## 施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 系計 画体	分野	1	第 1 章	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	施策統括課	経済政策課
	施策No.	2	施 策 名	活力ある商工業の振興	課 長 名 (施策統括責任)	富永 誠一
	関係課	企画政策課 GX推進課 経済政策課 企業立地課 上下水道局				

### 1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	商業・工業の売上げが確保され、健全な経営がなされている。
取組方針	経営基盤の強化に向けた支援や人材育成、商工団体との連携等により、既存商工業の経営安定及び域内における経済循環の向上を図るとともに、地域ブランドの強化を促進します。また、雇用の受け皿と地域経済の活性化対策として企業誘致を進めるとともに、産学官の連携等による新産業の創出、労働環境の向上、新たな市場開拓の支援と販路拡大に取り組みます。

### 2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	事業者、従業者					
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	事業者の収益増加を図り、安定した雇用を創出する。					
<b>成果指標 A</b>						
						単位
年間商品販売額（商業）						億円
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績
5,746	5,746 5,746	5,746 5,746	5,746 5,746	5,746 5,746	5,746 5,746	5,746 5,746
<b>成果指標 B</b>						
						単位
年間製造品出荷額等（工業）						億円
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績
2,786	2,786 2,865	2,786 2,963	2,878 3,117	2,878 2,878	2,953 3,037	3,232 3,191
<b>成果指標 C</b>						
						単位
新規求人数						人
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績
33,736	33,736 30,528	33,736 28,942	33,736 32,348	33,736 35,238	33,736 34,939	33,736 36,743

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	56.7%	57.1%	↑
ある程度重要である	32.9%	34.6%	↑
あまり重要ではない	3.9%	3.1%	↓
重要ではない	0.5%	0.4%	↓
順位	7/36位	6/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	1.7%	2.2%	↑
どちらかといえば満足	33.5%	35.3%	↑
どちらかといえば不満	44.1%	43.7%	↓
不満である	7.3%	6.9%	↓
順位	34/36位	34/36位	→

#### 4. これまでの取組・成果

##### (1) 既存商工業の経営支援

佐賀商工会議所、佐賀市北商工会、佐賀市南商工会を中心に各支援機関・金融機関との連携で、講習会開催、巡回指導や訪問型伴走支援、デジタル化・DX推進等を通じて既存商工業の経営改善、業績向上、経営の安定を図った。

##### (2) 地域ブランドの強化

首都圏のバイヤー等を招聘し市内事業者を視察する産地訪問型の商談会を実施することで地場産品の新商品の開発や異業種間の連携を促進した。さらに、高付加価値商品のプロモーションを支援することで、地場産業や伝統工芸品のブランド力向上を図った。

##### (3) 企業誘致と新産業の創出

2013年度以降、29社の企業誘致を行ったほか、Microsoft AI&イノベーションセンター佐賀の設立と、産学官連携での人材育成を通じた創業支援・新事業創出を図り、IT・クリエイティブ産業を創出した。

##### (4) 雇用の確保と労働環境の向上

誘致企業や地元企業と市内学生との交流会等を通して就業機会の確保を図るとともに、労働環境の改善に向けた専門家支援による労働環境の向上や勤労者福利厚生対策事業による勤労福祉の充実を促進した。

##### (5) 新たな市場開拓の支援と販路拡大の促進

国内外の販路拡大を目指す企業支援として、展示会への出展や催事への出店を支援することで、新しい市場での販路開拓を促進した。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

##### (1) 年間商品販売額（商業）

最新のR3年経済センサスでは市町村単位の年間商品販売額が整理されていないため、正確な実績値が不明であり、分析が難しい。

##### (2) 年間製造品出荷額等（工業）

工業統計調査が廃止され経済構造実態調査に引き継がれているが、令和6年度分の二次集計結果の公表は延期されており、現時点で取得不能なため分析が難しい。コロナや物価高等の影響は大きかったが、全体的には目標値を超えており、工業団地の分譲や経営改善・発展支援策が寄与しているものと考えられる。

##### (3) 新規求人数

職業安定業務統計（年報）の令和6年度分が未公開だが、コロナの影響は大きかったものの、全体的には目標値を超えており、工業団地の分譲、企業誘致や経営改善・発展支援による業績向上等が寄与しているものと考えられる。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）【横尾】

人口減少や物価高が続くなか、経営を取り巻く環境は変化し続けており、佐賀市の地域経済がいつまでも発展するためには、まちの稼ぐ力を高め、多様な「ひと」や「企業」に選ばれる必要がある。

そのため、企業ごとの経営課題に寄り添った伴走支援のほか、賃上げや利益率向上に向けた企業の生産性向上と高付加価値化の実現、未来に繋がる新しいビジネスへの挑戦を支援していく。

また、それらを支える人材として、産学官民連携で未来や世界を見据えた人材育成を行い、「ひと」を強みとした企業誘致や若者が中心となって活躍するまちづくりに繋げていく。